

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、此の度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

[4584] EGFR遺伝子変異解析

受託開始日

平成 19年 8月 1日(水)

EGFR遺伝子変異解析

EGFR (Epidermal Growth Factor Receptor ;上皮成長因子受容体)は細胞膜を貫通して存在する糖タンパクで、数々の上皮組織で発現し、EGFが結合することで上皮細胞の増殖を促します。EGFR は各種癌組織で過剰発現がみられ、この遺伝子変異が発癌や増殖に関与することが報告されています。2002年に非小細胞肺癌を対象としたEGFRのチロシンキナーゼ活性を選択的に阻害する分子標的薬であるゲフィチニブ(商品名:イレッサ)が承認されました。近年、EGFR遺伝子変異の有無がゲフィチニブの奏効率に関連することが数多く報告され、本検査は同治療薬の効果予測因子として期待されています。

EGFR遺伝子変異解析は、ゲフィチニブに対する感受性ならびに耐性変異に関与すると報告されているexon18、19、20、21の遺伝子変異を解析します。本検査には正常型遺伝子の増幅を抑制するプライマー(PNAプライマー)と変異型遺伝子特異的プローブ(LNAプローブ)を使用したPNA LNA PCR Clamp法により遺伝子変異を高感度(約1%)に検出可能です。

検査要項

項目コード	4584
検査項目名	EGFR遺伝子変異解析
検体量/保存方法	新鮮組織 0.5g / 深凍結(-70) パラフィン包埋病理標本 *1 10 枚(5 μm 薄切) / 室温 胸水 *2 1.0mL / 冷蔵
検査方法	PNA-LNA PCR Clamp法
基準値	変異を検出せず
所要日数	7 ~ 10 日
検査実施料	2000点(D004 「13」穿刺液・採取液検査)
判断料	34点(尿・糞便等検査判断料)
定 価	35,000 円
保険請求上のご注意	本検査は肺癌の詳細な診断及び治療法の選択を目的として患者本人に対して行った場合に限り、患者1人につき1回に限り算定が可能です。他の悪性腫瘍を目的とした場合には算定できません。 当該検査を算定するに当たっては、その目的、結果及び選択した治療法を診療報酬明細書の摘要欄に記載する必要があります。

*1 : 病理組織診断にて悪性腫瘍が認められていることを確認の上、ご提出下さい。

*2 : 細胞診検査にて悪性細胞が認められていることを確認の上、ご提出下さい。
気管支洗浄液での受託も可能です。

検査方法参考文献

Yoshiaki Nagai, et al.: Cancer Res **65** :7276-7282, 2005.

解析領域

ゲフィチニブに対する反応性 *	exon	変異タイプ
感受性変異	exon 18	G719C
		G719S
		G719A
	exon 19	E746-A750del (nt 2235-2249del)
		E746-A750del (nt 2236-2250del)
		L747-A750del T751S
		L747-S752del P753S
		L747-E749del A750P
		L747-S752del E746V
		S752- 759del
	その他のdeletion	
	exon 21	L858R
L861Q		
耐性変異	exon 20	T790M

* : ゲフィチニブに対する反応性が報告されている遺伝子変異部位です。